

記入例 1. 退職等により 1 1 月分まで徴収し、残税額を普通徴収に切り替える場合

給与支払報告
特別徴収

に係る給与所得者異動届出書

提出用

※法人番号及び個人番号は必ずご記載いただきますようお願いいたします。

※ 年 度		1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度													
蒲 郡 市 長		給 与 支 払 者 (特別徴収義務者)	所 在 地	〒443-8601 蒲 郡 市 旭 町 1 7 番 1 号				特別徴収義務者 指 定 番 号	4000001										
6 年 12 月 5 日提出			フリガナ	ガマゴオリ				担 連 当 絡 者 先	所 属	人事課 給与係									
			氏名又は名称	蒲 郡 株 式 会 社					氏 名	蒲 郡 花 子									
			個人番号 又は法人番号	1	2	3	4		5	6	7	8	9	0	1	2	3	←個人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰めで記載	電 話
給 与 所 得 者	フリガナ	ガマゴオリ イチロウ		(ア) 特別徴収税額 (年 税 額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異 年 月 動 日	異 動 の 事 由	異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法										
	氏 名	蒲 郡 一 郎																	
	生年月日	昭和56年 1 月 1 日																	
	個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8																	
	受給者番号	1 0																	
	1 月 1 日 現在の住所	蒲 郡 市 夕 日 町 1 丁 目 2																	
異 動 後 の 住 所	同 上		23.200 円	6 月 11 日 まで 11.800 円	12 月 5 日 まで 11.400 円	6 年 11 月 30 日	1 右から 番号を 記入 [事由・理由 1. 退職 2. 転職・長 3. 死 職・長 4. 休 職・長 5. 支払少額・不定期 6. 組合 併・解 7. その他 事由・理由 職 勤 欠 亡 散 他 の 他]	3 右から 番号を 記入	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)										

1. 特別徴収継続の場合										新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 日分 (翌月 1 0 日納入期限分) から											
新 しい 勤 務 先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指 定 番 号	新規								法 人 番 号										事由の「その他」については、原則以下 に該当する方です。 e. 普通徴収者として扱う事業専従者	
	所 在 地	〒								担 当 者 連 絡 先	所 属										
	フリガナ										氏 名										
	氏名又は名称										電 話	内線()									
納入書の要否 (新規の場合のみ記載)										右から 番号を 記入										1. 必要 2. 不要	

2. 一括徴収の場合										左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分 (翌月 1 0 日納入期限分) で 納入します。									
理 由	1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が 年 1 月 1 日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日		徴収予定額 (上記(ウ)と同額)															
		月 日		円															

3. 普通徴収の場合										※市町村記入欄									
理 由	1. 異動が 6 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 年 5 月 31 日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	1		右から 番号を 記入															

ご注意
転勤、再就職等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合は、
一 前勤務先で、上段の事項を記入し、新勤務先に回付願います。ただし、「給与所得者」の欄の「個人番号」については、
記入する必要はありません。また、前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」の欄の「個人番号」についても記入する
必要はありません。
二 新勤務先では、中段(1)、特別徴収継続の場合の事柄を記入し、蒲郡市長に送付してください。